

【モルック大会】

—ルールブック—

○モルックとは

モルックとは、フィンランドのカレリア地方の伝統的なキイッカ (kyykkä) というゲームを元に 1996 年に開発されたスポーツです。

○道具

【モルック】



【スキットル】

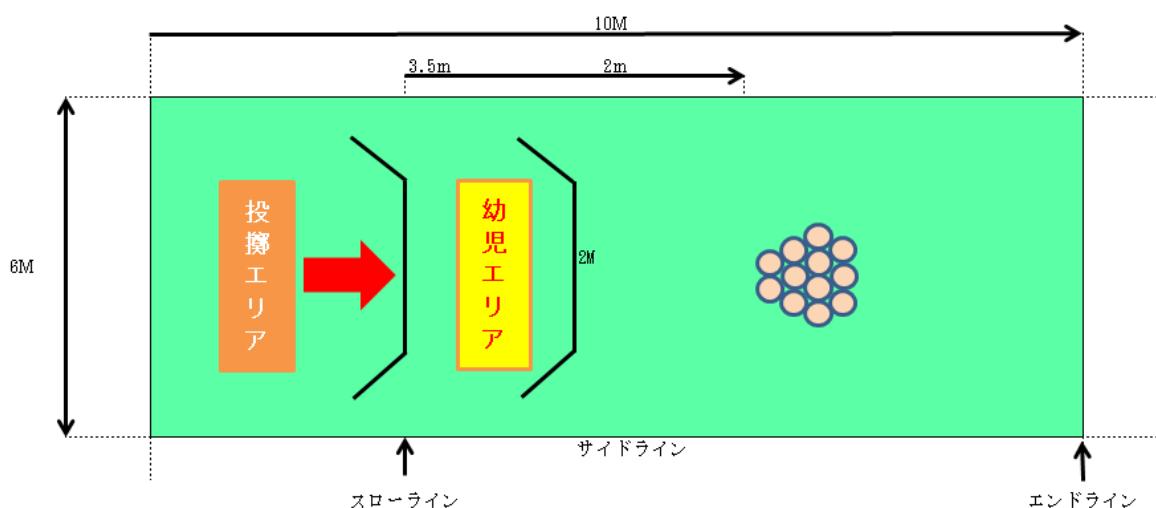


【モルッカーリ】



○試合の流れ

- ・投げ方は下投げのみ。
- ・コートは縦 10m × 横 6m 以上。
- ・モルッカーリから 3.5m の位置にスキットルを配置。
- ・1 チーム 2~4 人、順番かつ交互に投げる。
- ・チームの投げる順番はジャンケンで決める。
- ・順番にモルックを投げ、先に 50 点ピッタリにしたチームが勝ち。(1 ゲーム終了)
- ・上記の 1 ゲームを 2 回行いトータルの点数を競います。



ルール

- ① モルッカーリから 3.5 メートルの距離にスキットルを並べる。初期配置は下の図のように左側が奇数、右側が偶数になるようにくっつけて並べる。



- ② モルッカーリの内側からモルック棒を投げて、スキットルを倒す。1 本しか倒れなかった場合は、「**倒れたスキットルに書かれている数字 = 点数**」となる。
複数本のスキットルが倒れた場合は、「**倒れた本数 = 点数**」となる。
万が一投擲後、足がモルッカーリから前に出た場合はその投擲の点数は0とします。

【1 本倒した場合】



《上の場合は 11 点》

【複数本倒した場合】



《上の場合は 4 点》

- ③ スキットルを倒れた地点でそのまま立て、次のプレイヤーの順番になりゲームは続行となる。これを順番に繰り返し、50点ぴったりを目指す。（超えたら25点に減点され、ゲームは継続される）

※試合時間が終了した時点で 50 点に近いチームの勝ち（投擲回数は同じにする）

- ④ スキットルが完全に倒れていない（ほかのスキットルと重なって地面についていない）場合は、そのスキットルは得点にカウントしない。

○注意点

- ・モルックは投げたプレイヤーが次のプレイヤーに渡す。
- ・3 回連続スキットルを倒せず、失投した場合 0 点と記録され、そのゲームのみ失格となる。
- ・スキットルがコートから出た場合は、元の位置から真横に移動させ、コート内へ戻す。
- ・モルッカーリの踏み越え防止のため、投擲後は 1 歩下がって後ろもしくは横から退く。